

山城北保健所管内の感染症発生動向調査

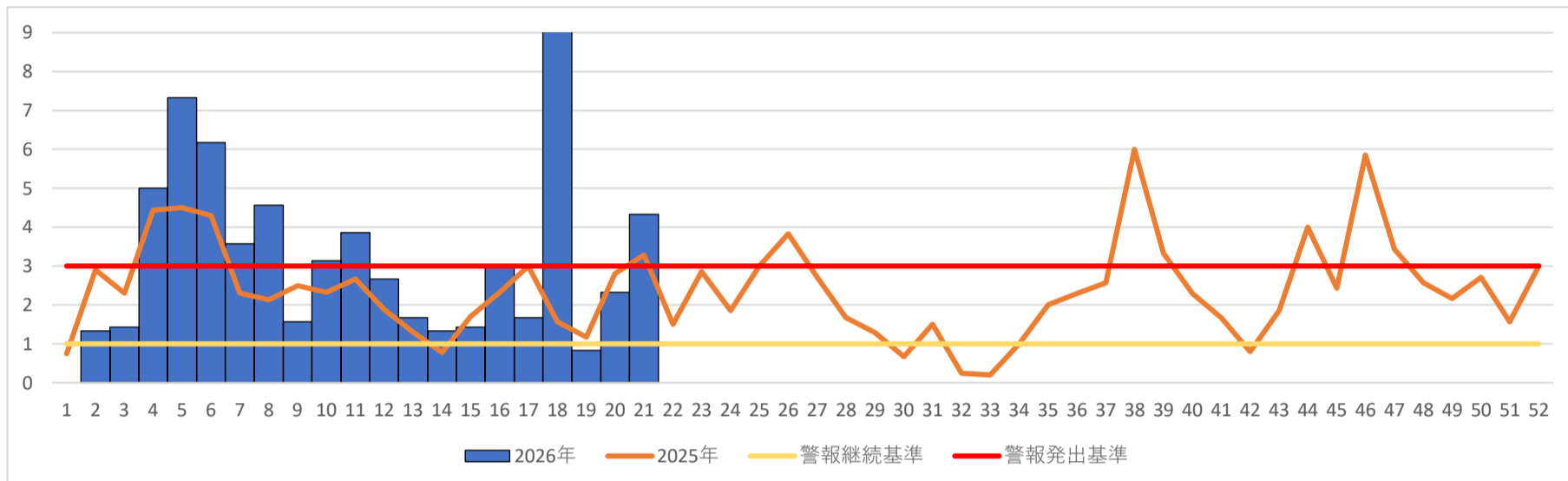
(ARI定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

2026年 第21週 (5月18日～5月24日)

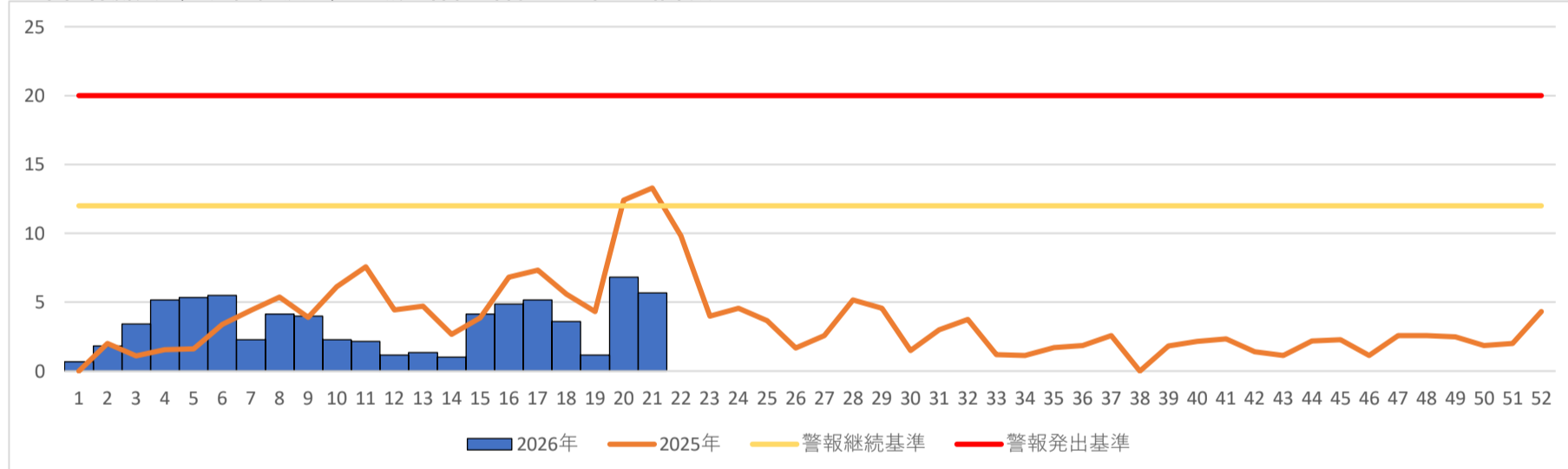
今週のコメント

- 「咽頭結膜熱」の定点当たりの報告数は4.33 (20週2.33、19週0.83) と増加傾向です。手洗い、手指消毒、咳エチケット、こまめな換気等の感染症予防を行いましょう。
- ノロウイルス等の「感染性胃腸炎」の定点当たりの報告数は5.67 (20週6.83、19週1.17) と横ばいです。
- 「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」の定点当たりの報告数は4.67 (20週5.67、19週1.83) と横ばいです。
- 「新型コロナウイルス感染症」の定点当たりの報告数は0.13 (20週0.78、19週0.33) と減少傾向です
- 「水痘」の定点当たりの報告数は、0.83 (20週0.50、19週2.00) と横ばいです。

咽頭結膜熱 (定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数



感染性胃腸炎 (定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数



定点把握疾患

< 特定の医療機関 (定点医療機関) を定め、その医療機関を受診した患者の数を基に、流行状況を把握 >

疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)	疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)
インフルエンザ	— (0.00)	手足口病	— (0.00)
新型コロナウイルス感染症	0.13 (0.17)	伝染性紅斑	— (0.00)
RSウイルス感染症	— (0.00)	突発性発しん	0.33(1.00)
咽頭結膜熱	4.33(1.86)	ヘルパンギーナ	— (0.00)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.67(0.82)	流行性耳下腺炎	0.17 (0.00)
感染性胃腸炎	5.67(0.83)	急性出血性結膜炎	— (0.00)
水痘	0.83(1.66)	流行性角結膜炎	— (0.00)

定点あたりの報告数 = 1週間の報告件数 / 定点数

警報：1週間の定点あたり報告数が、ある基準値 (警報の開始基準値) 以上の場合に発生します。

前の週に警報が発生していた場合、1週間の定点あたり報告数が別の基準値 (警報の継続基準値) 以上の場合に発生します。

注意報：警報が発生していないときに、1週間の定点あたり報告数が、ある基準値 (注意報の基準値) 以上の場合に発生します。

全数把握疾患

< 全ての医療機関から医師の届出が義務付けられている感染症 >

分類	報告
1類感染症	報告なし
2類感染症	結核1件
3類感染症	報告なし
4類感染症	報告なし
5類感染症	百日咳1件

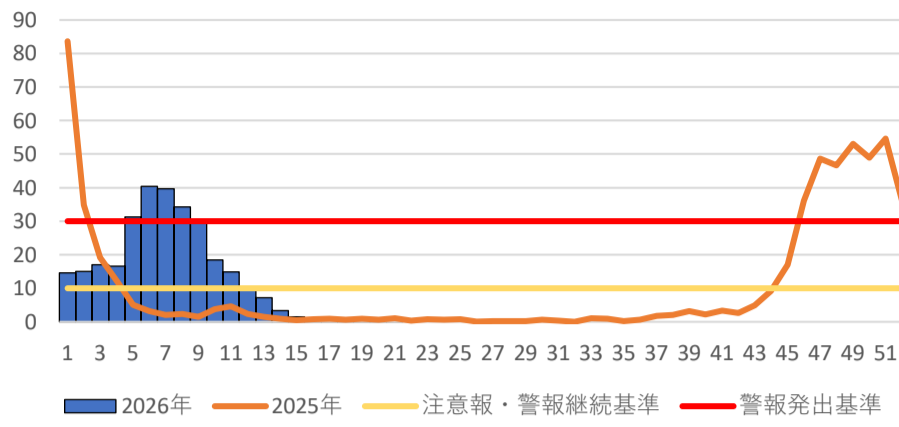
※このデータは速報値であり、今後変更等が行われる可能性があります。ご了承ください。

参考：京都府感染症情報センター

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

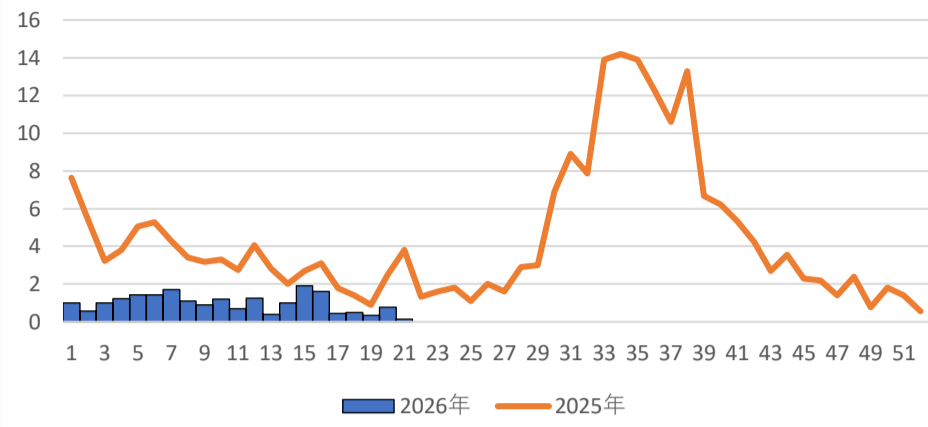
山城北保健所管内定点当たり報告数推移

インフルエンザ



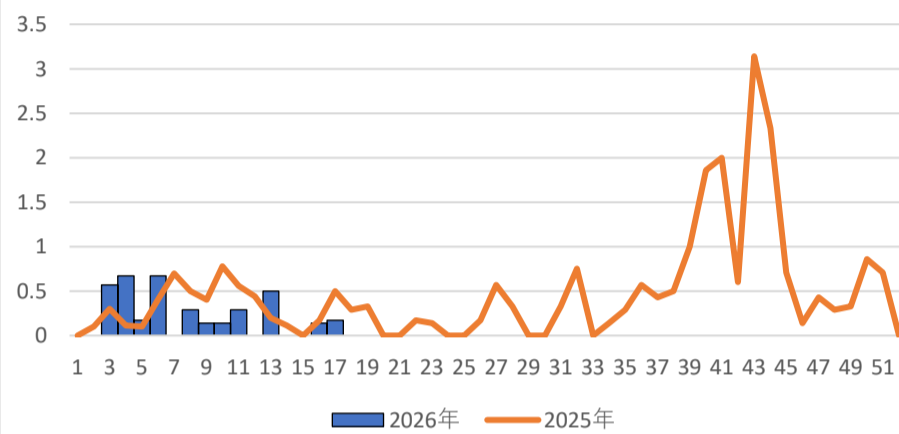
新型コロナウイルス感染症

警報基準なし

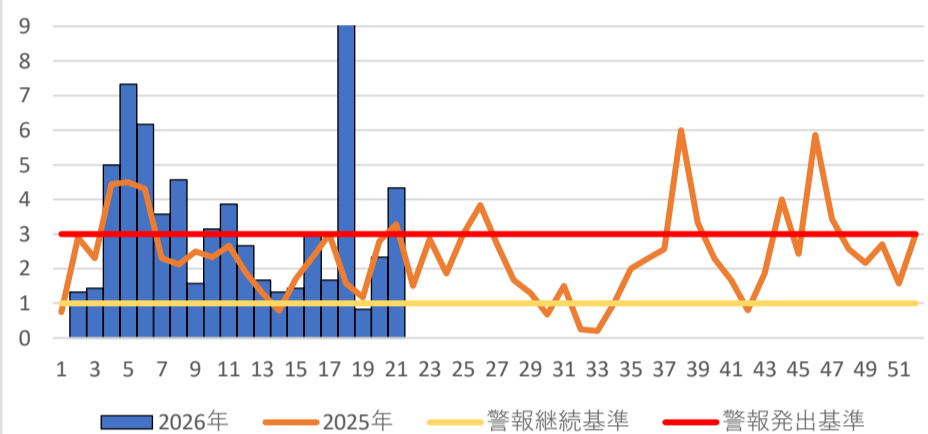


RSウイルス感染症

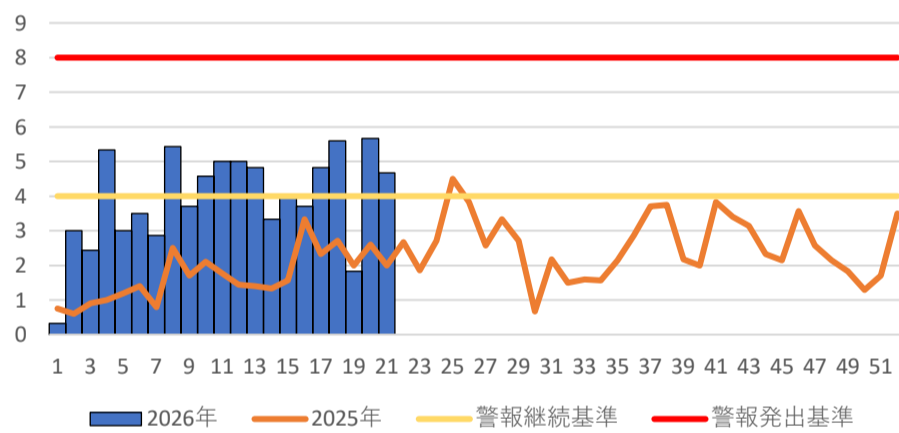
警報基準なし



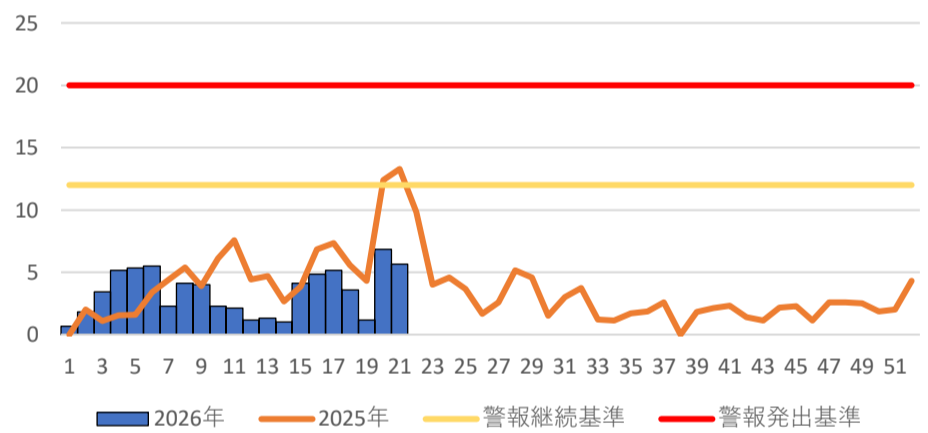
咽頭結膜熱



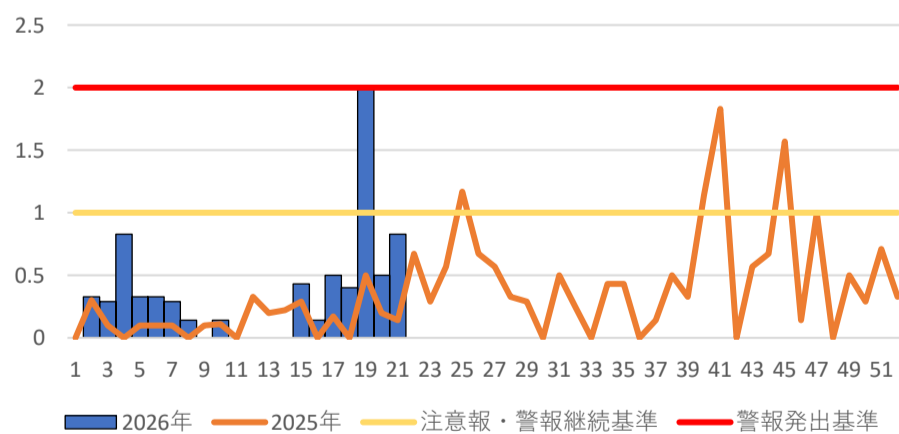
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



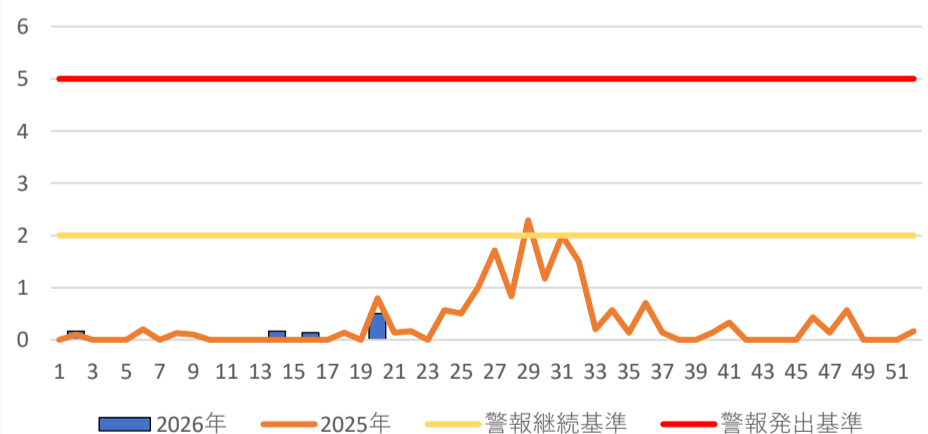
感染性胃腸炎



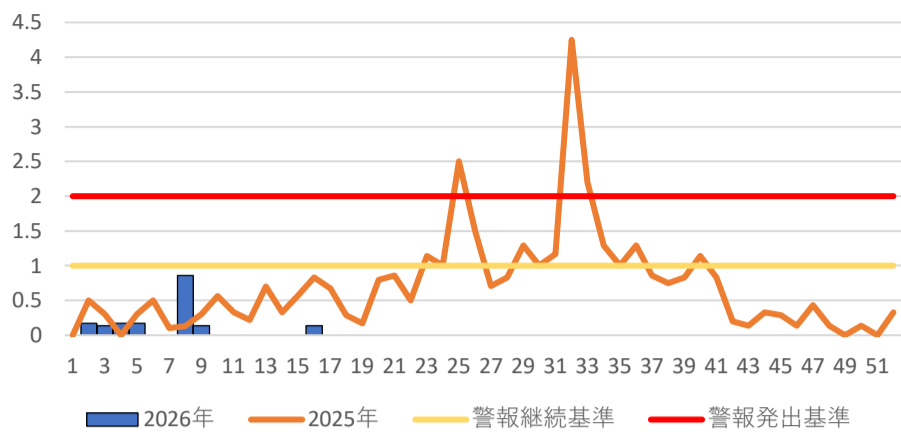
水痘



手足口病

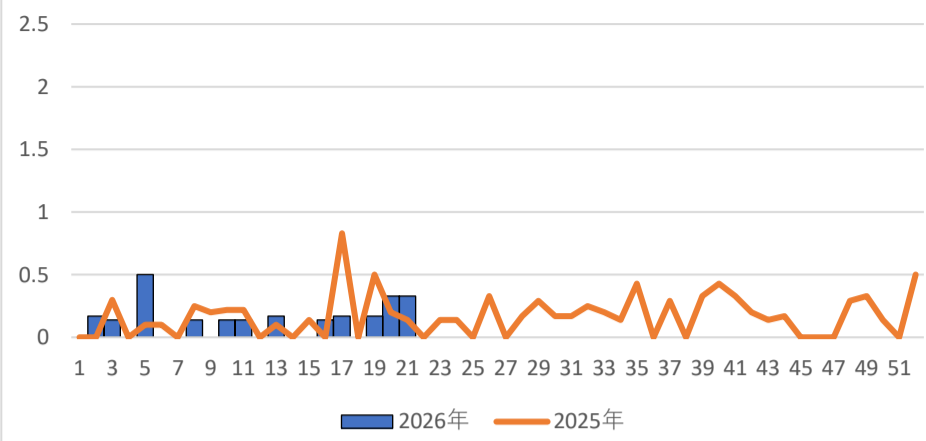


伝染性紅斑

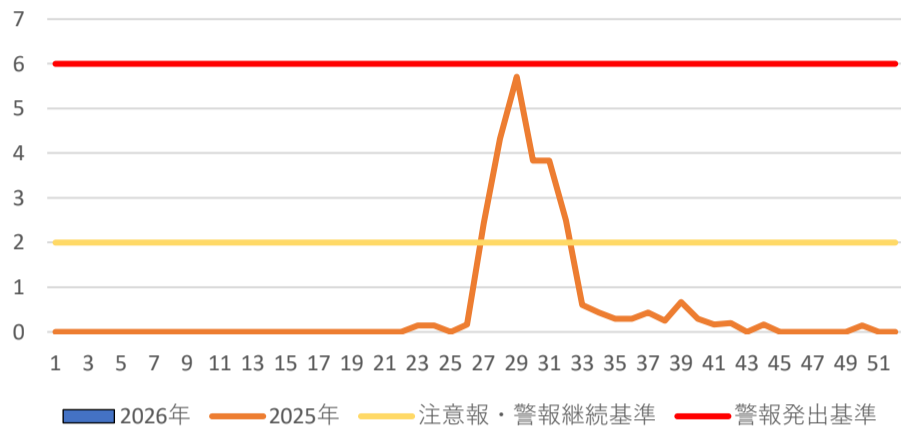


突発性発しん

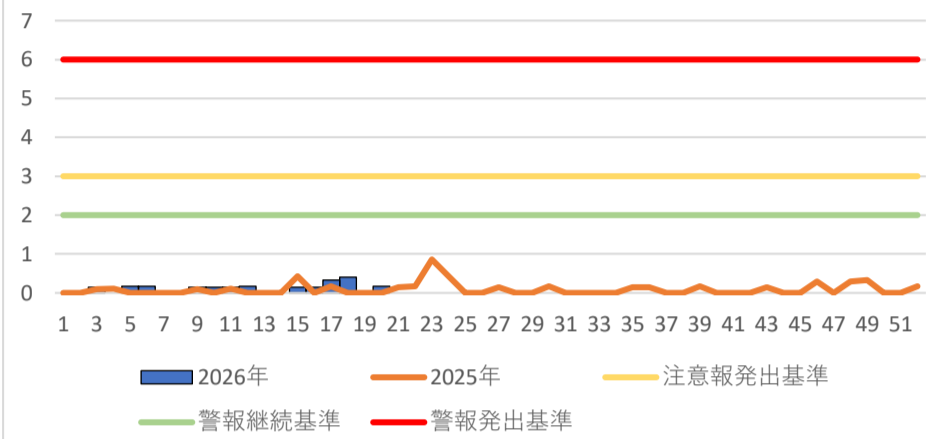
警報基準なし



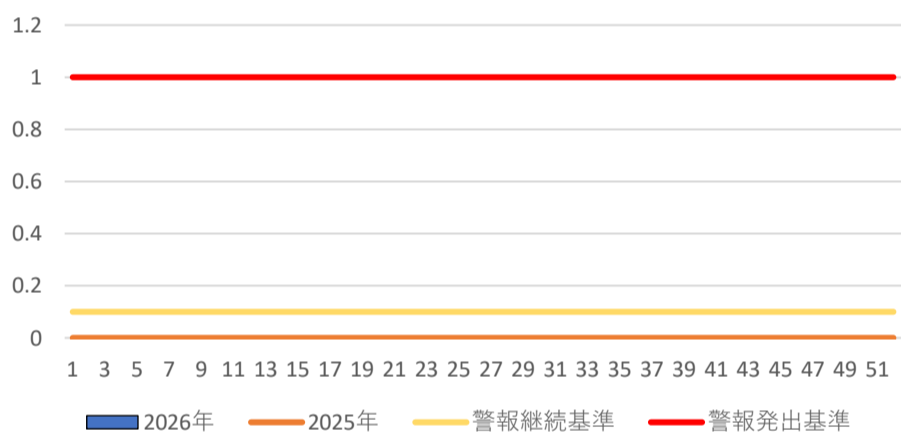
ヘルパンギーナ



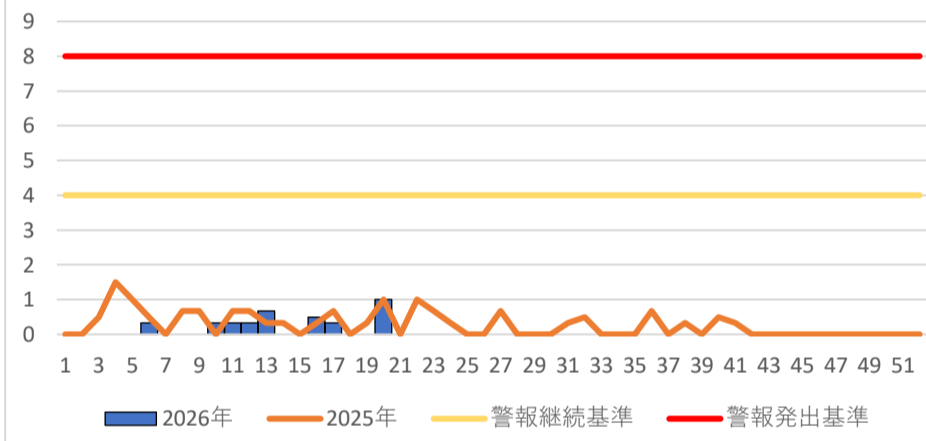
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症（ARI）とは

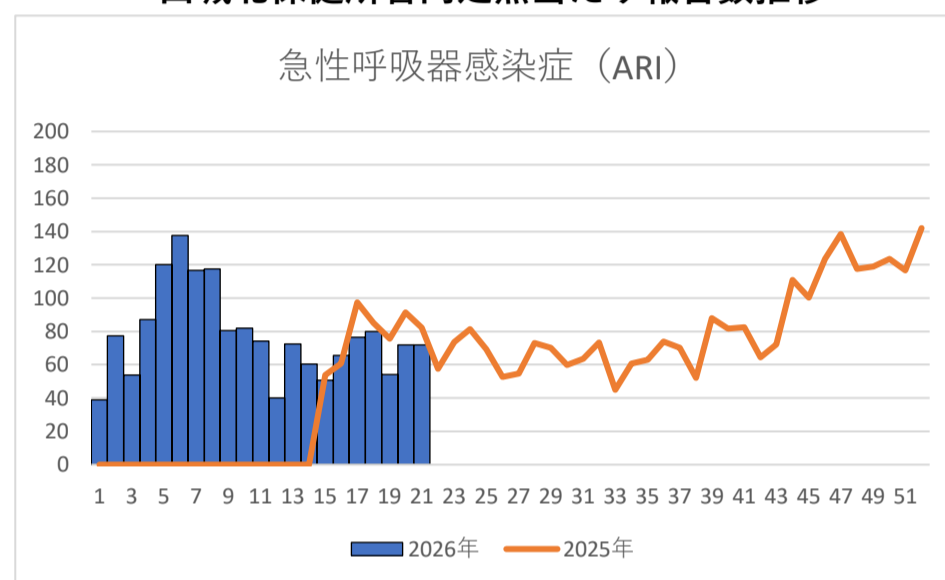
急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。以下の症例定義（※）を満たす場合に報告対象となることから、インフルエンザやCOVID-19等と診断された場合でも、ARIの症例定義の症状があれば両方の報告対象となります。

※ 咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

	定点あたりの報告数（前週比）
急性呼吸器感染症（ARI）	72.00（1.00）

山城北保健所管内定点当たり報告数推移



※ 急性呼吸器感染症：2025年4月7日から集計を開始

参考：京都府感染症情報センター 京都府におけるARI発生状況

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/ari.html>